



坂 本 正 教授

坂本 正先生の退職記念号に寄せて

学 長 幸 田 亮 一

坂本正先生は、1970年に岡山大学法文学部経済学科をご卒業後、同大学法文学部副手を1年間務められた後、九州大学大学院経済学研究科に進学され、1977年に同研究科博士課程を単位修得退学されて、引き続き九州大学において経済学部助手をお務めになった後、1978年4月に熊本商科大学商学部講師として着任されました。その後、助教授をへて1986年には教授に昇格されています。

先生のご専門は金融制度論で、研究成果は単著『金融革新の源流』（文眞堂、1997年）に纏められ、翌1998年に博士（経済学）の学位を九州大学より授与されています。この他に多数の共著を出されています。代表的なものとして『戦間期の通貨と金融』（有斐閣、1982年）、『現代信用論の基礎問題』（有斐閣、1994年）、『現代金融危機の構造』（慶應義塾大学出版会、2000年）、『現代の金融と地域経済』（新評論、2003年）などです。このほか、本号に収録されている先生のご業績に示されるように多くの学術論文に加え、調査報告書や翻訳、辞典執筆などの出版物を出されています。さらに、国際学会を含め数多くの学会報告を行われており、まさに精力的に研究を積み上げられてきました。

先生は、このように研究者として素晴らしい業績をあげられただけでなく、大学運営においても並ならぬ手腕を発揮されてきました。先生は1988年の商学科長を振り出しに1990年には海外事情研究所長、1992年には商学部長を歴任されています。さらに1995年に学校法人熊本学園評議員ならびに同理事に就任され、2002年より8年間、第10代の熊本学園大学学長をお務めになり、この間、以下のように次々に新機軸を打ち出され本学の発展に大きく貢献されました。

中国工商银行都市金融研究所と学術交流協定締結、大学院4研究科博士後期課程設置、商学部第一部ホスピタリティ・マネジメント学科設置、北京第二外国語学院と大学間交流協定締結、経済学部リーガルエコノミクス学科設置、大学院会計専門職研究科設置、社会福祉学部第一部ライフ・ウェルネス学科設置、台湾崑山科技大学と大学間交流協定締結。

以上のほかにも坂本学長は県や市の様々な委員として、さらに地元テレビ局のコメンテーターとして活躍され、まさに本学の宣伝部長として八面六臂の活躍をされてきました。

個人的なことを述べると、坂本学長時代に私は商学部長としていろいろな行事にいっしょに参加させていただきました。その際、博識と論理性に裏付けられ流暢に話を展開される力量になんども舌を巻いたものです。

1978年より長年にわたって熊本学園大学の発展にご貢献頂いた坂本正先生は2018年3月をもってご退職となりました。引き続きシニア客員教授として教育・研究・社会貢献にもご尽力いただいていることはたいへんありがたいことです。

これから先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学に発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

坂本正先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。